

2030年ZEH政策の現在地と突破口：消費者意識ギャップと4つの打開策

2030年の政府目標

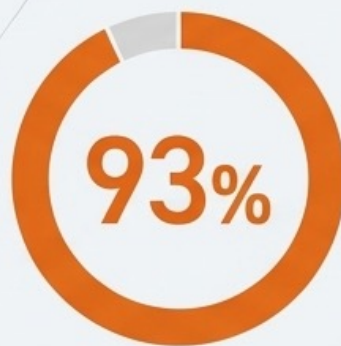
新築住宅の平均でZEH
(ネット・ゼロ・エネルギー
・ハウス)の実現



普及の壁

建設時の初期費用と
太陽光発電等のメンテ
ナンス費用の高騰。

消費者意識の現状 (調査Iより)



「ZEH」という
言葉すら知らない



意味を知れば
「魅力的だ」と感じる

年代や環境意識の高さを問わず、
「200万円を超えるコストアップ」は
大きな阻害要因となる。

2030年への4つの打開策 (調査IIより)



認知拡充

QRコード付き政府公式
パンナー等の広報策で初
期認知を獲得。



透明性

複雑なZEH関連コスト
の徹底的な「見える
化」。



負担軽減

初期・メンテ費用の
削減支援、消費税率
低減などの特典策。



最適化

トータルコストを抑え、
太陽光パネル設置に最
もも適した「ZEH 平屋
住宅」の推奨。